

新丸山ダム建設事業の概要

平成21年1月7日

中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

新丸山ダム建設事業の概要 <1/4>

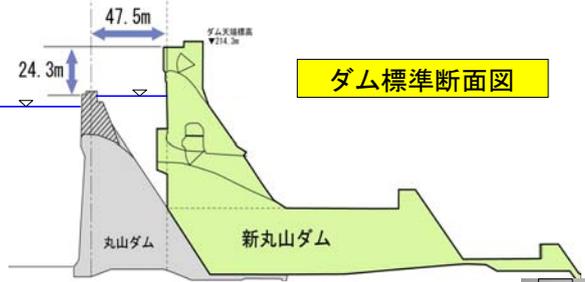
場 所	木曾川水系木曾川(河口から約90km) 右岸：岐阜県加茂郡八百津町 左岸：岐阜県可児郡御嵩町
目 的	○洪水調節(木曾川の洪水防御) ○流水の正常な機能の維持 ○発 電
工 期	昭和55年度～平成28年度
事業費	約1,800億円
経 緯	昭和55年 4月 実施計画調査着手 昭和61年 4月 建設事業着手 平成 2年 5月 基本計画策定 平成 4年 3月 用地補償基準妥結 平成17年 6月 基本計画変更(工期延伸) 平成19年11月 河川整備基本方針策定 平成20年 3月 河川整備計画策定
予算執行状況	平成19年度 30.30億円 平成20年度 23.54億円 平成20年度迄 約613億円 (進捗率約34%) 平成21年度概算 22.25億円



新丸山ダム建設事業の概要 <2/4>

ダム諸元

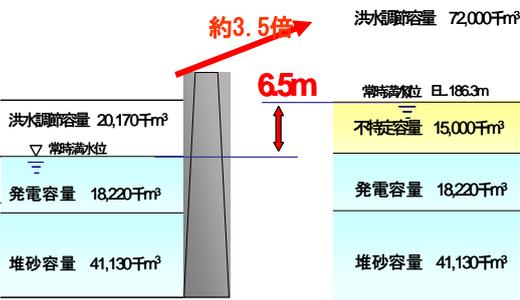
形式	重力式コンクリートダム
堤高	122.5m
堤頂長	382.0m
堤体積	1,220,000m ³
非越流部標高	EL. 214.3m



貯水池諸元

流域面積	2,409km ²
湛水面積	3.87km ²
総貯水容量	146,350,000m ³
常時満水位	EL. 186.3m
サーチャージ水位	EL. 209.4m

貯水容量配分図



目的

- 洪水調節
洪水調節容量 72,000千m³
- 流水の正常な機能の維持
不特定容量 15,000千m³
- 発電
最大落差 6.5m

新丸山ダム建設事業の概要 <3/4>

◆河川整備基本方針

計画規模を1/100から1/200に変更

工事実施基本計画

基準地点	確率規模	基本高水ピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
犬山	1/100	16,000 m ³ /sec	3,500 m ³ /sec	12,500 m ³ /sec

河川整備基本方針

基準地点	確率規模	基本高水ピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
犬山	1/200	19,500 m ³ /sec	6,000 m ³ /sec	13,500 m ³ /sec

◆河川整備計画

対象洪水(目標量流)は戦後最大の昭和58年9月洪水

基準地点	目標流量	洪水調節量	河道整備流量
犬山	16,500 m ³ /sec	4,000 m ³ /sec	12,500 m ³ /sec

◆洪水調節効果

昭和58年9月洪水を新丸山ダム建設により、今渡地点(67.0km)で約3m、木曾川橋下流地点(39.6km)で約1.5m水位低下させることが可能。(図は今渡地点)



※新丸山ダム完成前水位は、既設の岩屋、阿木川、味噌川、丸山ダムの洪水調節後の水位。

◆昭和58年9月洪水

丸山ダムの計画高水流量6,600m³/sを大きく上回る8,200m³/sの洪水が発生。美濃加茂市など2市2町で約4,600戸が浸水被害。(写真は美濃加茂市内の当時の様子)



新丸山ダム建設事業の概要 <4/4>

主な平成20年度事業

- ◆**工事関係**
 - 新旅足橋など、付替道路一般国道418号の工事継続
 - 工事用道路原石山線の工事継続, 他
- ◆**調査・設計関係**
 - 河川整備基本方針の策定に伴い計画外力等が変更されたため, ダム放流設備等の検討, 他
- ◆**用地補償関係**
 - 水没用地及び付替道路用地等の取得の継続, 他

項 目	全体数量	平成20年3月末
水没地用地取得	118ha	114ha (97%)
水没家屋移転	49戸	49戸 (100%)
付替道路一般国道418号	15,420m	8,009m (52%)
工事用道路資材運搬線	10,630m	9,930m (93%)
工事用道路原石山線	4,300m	3,594m (84%)

